

# やましろ

2011年3月

第11号



## 普及センターだより

### 特集 やましろのお茶Ⅱ

## 品質の良いお茶を生産し続けるために

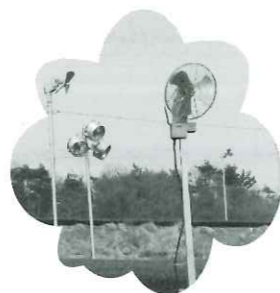
品質が高く、安心・安全なお茶を生産し続けることが、茶業経営の安定と産地の維持につながります。作業カレンダーを参考に、今行っている作業を見つめ直して、さらなる良質茶生産を行いましょう。

### 作業 カレンダー



### ポイント

3月	晩霜害への備え	サーモスタットの動作を確認するなど備えは万全に!
4月	被覆のタイミング	新芽の生育をよく観察して被覆を始めましょう
	茶工場の点検	茶工場の整理・整頓や製茶機械の点検を行いましょう(詳しくは2ページへ)
5月	茶品評会	品評会審査結果を改善に活かしましょう(詳しくは2ページへ)
	一番茶摘採	新芽の生育を観察し、適期摘採を行いましょう
6月	深刈りや中切りによる茶樹の更新	樹勢の良否は、品質・収量に大きく影響します(詳しくは3ページへ)
7月	二番茶摘採	樹勢を衰えさせる過度な被覆栽培は避けましょう
8月	夏芽を守る病害虫防除	害虫は、初発の時期を見逃さずに、病害は適期に予防防除を行いましょう
	土の酸度矯正と深耕	数年に1回は土壌分析を行い土の酸度を調べましょう
9月	秋の施肥	分肥を行い、遅くとも10月中には施用ましょう
	秋整枝のタイミング	早すぎると再萌芽するので注意ましょう
11月	作業の見つめ直し	GAPに取り組みましょう(詳しくは3ページへ)



## 茶工場の点検 ～安心・安全で品質の高い茶製造のために～

製茶作業が始まる前に、早めに、製茶工場・製茶機械を点検ましょう。

### ●まず掃除

積もった茶ぼこりやゴミが茶葉に混入しないように、目が届きにくい所も拭いたりエアード吹くなどきれいにしてください。

### ●整理・整頓

ヘラや刷毛、工具等は場所を決めて保管するとともに、製茶機械周辺を整理整頓し、異物混入を防止ましょう。

### ●工場の点検

壁や排水溝などに隙間はありませんか? 虫や小動物が入り込み、思わぬ事故や異物混入につながります。隙間をふさいでおくか、金網などを設置してください。雨漏りも修繕ましょう。

### ●製茶に備えて

工場は、二足制にましょう。また、入り口には虫の侵入を防ぐ網戸かカーテンなどを設置するなど工夫ましょう。



機械の点検



まず掃除

### ●機械の点検

製茶機械の動作(バネ圧や回転数等)を確認ましょう。また、ネジやピンが緩んでいませんか? 製茶中に外れたりしないように、あらかじめ締め直してください。

## 品評会審査結果の活かし方

茶品評会審査会での指摘事項は、製茶工程の改善に参考となります。表1、2を参考として、品質の向上につなげてください。

表1 揉み茶

指摘事項	生葉保管	蒸熱冷却	粗揉	揉捻	中揉	精揉	乾燥
伸び不足			○		○	◎	
赤黒み(外観)	○	◎	○	○	○	○	○
むれ臭・味		◎	◎	○	○	○	○
葉いたみ臭・味	◎						
苦渋味	◎	◎	○	○	○	○	

表2 てん茶

指摘事項	生葉保管	蒸熱	冷却散茶	てん茶炉
重なり葉多し		◎	○	
折れ葉多し		◎	○	
染まり不足		◎		○
染まり不均一		◎		
赤み・赤黒み(外観)	○	◎		○



◎主要な原因として考えられる工程  
○原因として考えられる工程

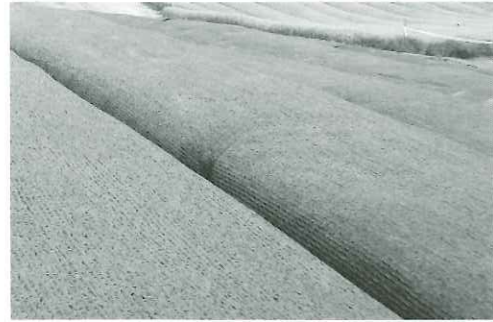
※他の指摘事項については、普及センターまでお問合わせください。



# 良質茶生産には樹勢の維持を!!

## ◎過度な被覆は、樹勢低下の原因

玉露やてん茶は、適切な被覆管理によって旨味成分や覆い香が増加し、品質が高まります。しかし近年、強遮光（遮光率80%以上）の



樹勢を弱める過度な被覆

長時間被覆や、一・二番茶期の連続被覆栽培によって、樹勢の低下をもたらす、逆に収量・品質に悪影響を及ぼしている茶園がみられます。

## ◎樹勢を回復するため、更新作業を

摘採・整枝を繰り返すと、徐々に摘採面を構成する枝条が細くなり、その結果、新芽の開葉数が減少し、芽伸びが悪くなります。

このように枝条が細くなった茶園や過度な被覆によって樹勢が衰えた茶園では、更新（深刈り、中切り等）を行い、樹勢の回復を図りましょう（若返り対策）。

深く刈るほど、回復に時間がかかりますが、効果は長く持続します。

枝条の状態に応じて、更新時期、深さ等を検討し、計画的に実施しましょう。

実施時期は一番茶摘採終了後、なるべく早いほうが望ましく、更新後、再生芽が5～6枚になった頃にせん枝面から5cm程度上で7月末までに刈り揃えましょう。



深刈り更新で樹勢回復

## 作業を見つめ直し 自己の経営を守る

消費者は「宇治茶」に対して香味に優れた高品質な茶を期待しており、その生産には、茶種に応じた適切な茶園管理による生葉生産と荒茶製造が必要です。また、計画的な茶樹の改植や深刈り等の樹勢更新等の実施も必要となります。

また、「安心・安全」は、食品である茶づくりの中では、基本中の基本であり、生産者自身が事故無く、健康であることも茶業経営を安定的に続けるために不可欠です。

一番茶や二番茶の終了時や農閑期に、茶園や製茶工場での作業を見つめ直してみましょう。そして、作業の手順（ルール）づくり等、より良い茶づくりに向けた改善を実施しましょう。

このような取組は、誰のためでもなく、まさに自分たちの経営を守り、続けていくために重要なことであり、最近注目され、導入が進んでいる【GAP手法】そのものでもあります。

## GAPを皆さんの経営に取り入れてみませんか。



各地域で研修中

～余裕のある作業で、事故を防ぎましょう～

## 新しい品目にチャレンジしてみませんか?



## ミニ堀川ごぼう

堀川ごぼうは長さ約60cmの伝統野菜で、6月頃に定植して12月に掘り取ります。過湿と乾燥に注意すれば栽培は比較的容易です。

家庭で使うには大きすぎるのが難点で、長さ約40cmのミニサイズの堀川ごぼうを試作しています。

## 茶業経営と組合せ可能な野菜の例

## こえびちゃん

- こえびちゃんはエビイモ栽培で獲れる小さな丸形のイモ(主に孫イモ)でエビイモ栽培ほど高度な技術が無くても、比較的容易に作る事ができます。
- 23年度からは、在来系統よりも孫イモ数が多い「新品種」の試作も行います。



## 水稻「ヒノヒカリ」の高温障害対策

出穂後20日間の平均気温が26～27℃以上になると品質・収量が低下しますので、以下の点に注意してください。

- ①出穂期が8月下旬になるように、田植時期を6月10日以降に遅らせる。
- ②過繁茂を防止し登熟を良くするために、基肥を控える。
- ③根を健全に維持するため、中干し後は間断かんがいを行い、収穫10日前までは水を切らない。

## 平成22年度 新規認定「農の匠」

(京都府農山漁村伝承優秀技能)

## 「ナスの高品質多収栽培」曾我 繁男 氏 (木津川市)

ナス栽培を始めて40年以上、地域に合った品種や栽培方法を研究、工夫して、木津川市のナス産地を育成されました。

現在も若手に自らの技術を惜しみなく伝授し、担い手を育てておられます。



## 平成22年度 新規認定農業士

### ○指導農業士

氏名	市町村名	部門
山崎 徳一 氏	木津川市	茶
西村 秀俊 氏	南山城村	茶

### ○女性農業士

氏名	市町村名	部門
井上 多美子 氏	久御山町	野菜・苗
木野 友美子 氏	南山城村	茶

### ○青年農業士

氏名	市町村名	部門
吉川 和孝 氏	久御山町	野菜
吉岡 大治朗 氏	南山城村	茶



**国民文化祭・京都2011** 日本最大の文化祭典  
みんなの力で成功させよう!  
京都府内全市町村で約70のフェスティバルを開催 平成23年10月29日㊥-11月6日㊤

